

<司令官ケネス・メイナー大佐の2020年4月5日のビデオメッセージ（要約）>

いま世界中で「前例が無い事態」「混乱」「恐れ」という言葉が飛び交っています。わからないことがたくさんあります。仕事を失っている人、将来が見通せない人が大勢います。あまりにも状況が困難なので、自分を犠牲者、被害者だと感じている人が多いことと思います。しかし、神様は決してあなたを被害者とは見ておられません。もちろん神様はわたしたちの状況をご存じです。しかし、新型コロナウイルス感染症は必ず終わる時が来ます。この状況が終息したとき、あなたは自分を振り返って、どういうふうに自分を見ることになるか、想像してみてください。自分を見捨てられていた、と思うことも選べます。自分は勝利者だった、と思うことも選べます。どちらの自分になるかは、いま信仰によって選ぶことができるのです。ペトロの第一の手紙2章9節と10節をお読みください。自分を被害者だと思わないようにするためには、この聖書の御言葉に記されていることを受け取り、今は神の時であり、神は私を選ばれた民、王の系統を引く祭司としてくださった、と自分をみなすことが必要です。どうか忘れないでください。イエス様はあなたを見ておられ、知っておられ、愛しておられます。日本の救世軍の士官と戦友のみなさんに感謝します。みんなでこの事態に立ち向かって行きましょう。いま世界でイエスの御名によって救世軍はあらゆる年齢の人々に奉仕しています。そのために、みなさまの祈りが大きな力となっています。